

(様式1)

令和2年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 78	提案機関名 公益財団法人 相模湾水産振興事業団
要望問題名 相模湾全体を対象とした総括的な沿岸漁場環境の把握について	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】 ○ 相模湾の沿岸漁場環境については、漁業生産の場としての重要性から、様々な調査を実施中である。 ○ 当事業団は、相模川流域下水道処理水の海域放流影響調査事業に係る検討委員会を主催し、事業内容及び現場への適性の高度化を図るとともに、酒匂川の洪水に伴う漁場環境の回復に向けた調査を（県相模湾試験場に委託）行っている。 ○ 他にも、県が藤沢市境川から湯河原の千歳川までの各河川沖の環境調査を行なうとともに、海岸養浜事業が沿岸環境に及ぼす影響調査も茅ヶ崎、平塚、二宮、小田原の海岸で行われている。 ○ そこで、これらの調査を総括して相模湾全体を対象とした沿岸漁場環境の現状把握と将来を含めたモニタリングの継続を要望します。	
解決希望年限	①1年以内 ②2～3年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ③4～5年以内 ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	①農業技術センター ②畜産技術センター <input checked="" type="checkbox"/> ③水産技術センター ④自然環境保全センター
備考	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。（提案者は記載不要）

回答機関名	水産技術センター	担当部所	相模湾試験場、栽培推進部
対応区分	①実施 <input checked="" type="checkbox"/> ②実施中 <input checked="" type="checkbox"/> ③継続検討 ④実施済 ⑤調査指導対応 ⑥現地対応 ⑦実施不可		
試験研究課題名	(①、②、④の場合) 漁場環境保全調査、酒匂川濁流影響調査、養浜環境影響調査、磯やけ緊急再生支援事業		
対応の内容等	現在、相模湾西部海域の藻場や底質の調査については、上記のとおり漁場環境保全調査を始めとする各事業により実施中です。また各調査を横断的に取りまとめ、広域的な解析も実施します。 一方で、相模湾東部海域においては、衛星画像の解析や漁業者への聴取り調査などにより、藻場の状況を把握して藻場図面（藻場マップ）を作成する調査研究に取り組んでおり、今後、相模湾全体の現状把握による藻場図面（藻場マップ）の作成も検討してまいります		
解決予定年限	①1年以内 ②2～3年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ③4～5年以内 ④5～10年以内		
備考			